

近畿建設リサイクル表彰	奨励賞（発生抑制・搬出抑制部門）
受賞者	株式会社 道端組
所在地	福井県福井市
受賞テーマ	現場の軟岩・中硬岩を破碎し路体・路床材に再利用（リユース・リサイクル）

【取組概要】

福井バイパス事業の一環で、あわら市笹岡地区にある山を開削・撤去し道路構築する工事において、当初設計では、掘削土を仮置場へ搬出するのみであったところ、掘削土に含まれる軟岩・中硬岩を破碎処理し、盛土材として利用することを発注者へ提案し、28,000m³の再使用（利用予定12,300m³含む（100%））を実現しました。

① 定置式破碎処理施設の導入

出土する軟岩・中硬岩は直径1mを超えており、ブレーカによる破碎を行いましたが、路体や路床の適材である直径20cm以下を60%程度が満たさない状況でした。また、粒径が50cm以下になると軽くなるため、ブレーカによる作業効率が落ち、工期内での処理が困難な状態でした。そこで、定置式破碎機（ジョークラッシャ）による試験破碎・土質検査を行い、盛土材とし適していると判明したため、仮置場に定置式破碎機を導入し、ブレーカによる一次破碎後に定置式破碎機で盛土材を製造する仕組みを構築することで、4,100m³を現場内利用しました。また、仮置場の敷き均しとして4,700m³利用しました。

② バイパス工事別区間への資材の提供

福井バイパスでは別工区を行っており、当工事で破碎した盛土材およそ19,200m³を工事間利用（利用予定12,300m³含む）しました。他工区との連携にあたっては、業者間で情報を共有したほか、仮置場の敷地面積が1haと限りがあったことから、製造した盛土材の積込み作業を道端組が実施し、作業の効率化を図りました。

【評価】

他業者が仮置場に搬出するのみのところ、軟岩・中硬岩を盛土材として利用できるよう定置式破碎機を導入する工夫をし、全量を盛土材としたことが評価できる。

